

西オーストラリア州が世界に誇る人気スポーツ ホッケー パースに来る！U-15日本代表を応援しに行こう！

# ホッケーの見どころ

ホッケーには、このスポーツならではのたくさんの見どころがあります。初めて観る人はこれらに注目してみよう！

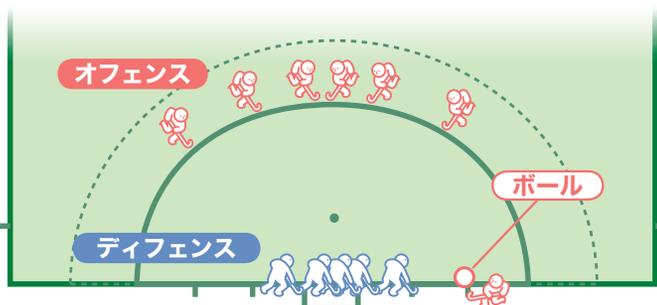


ホッケーを知るには、まず観に行ってお興奮を味わうのが一番早いよ！

## ペナルティ・コーナー

ホッケー独自のルールで、特定の場所での守備側の反則によって攻撃側に与えられる。攻撃側にとって一番有利でゴールに結びつくチャンスなので、ぜひ注目したい。

ペナルティ・コーナーの時の選手の配置の例



Information Courtesy of Hockey Australia

## ペナルティ・コーナーのルール

- 1 攻撃側の選手は相手ゴール前のサークルの外で、守備側の選手はゴールラインの外、またはゴールポストから10m以内のバックラインの外で待つ。攻撃側の選手が相手ゴールポストから10m離れた場所からフィールド内にボールを入れ、ボールがサークルの外に出た時点で攻撃側はボールを触ることができる。
- 2 スティックをスイングさせて最初のボールを直接シュートした場合（ヒットと呼ばれる）、ボールをゴール内にあるボード（板：46cm）より高く上げてはいけない。ヒットではなくプレーを1回挟むと、ヒットによるボールの高さの制限がなくなる。
- 3 ボールを受ける選手以外は、ボールがサークル内に入った時点で動くことができる。攻撃側はサークル外に何人いてもいいが、守備側はゴールキーパーを含めて5人しかゴール付近にすることができず、他の選手はボールがフィールドに入るまでセンターラインの相手側の陣地にいなければならない。攻撃側にとっては数的優位があるため、大事な得点チャンスとなる。

## オフェンス

完全防備をしてゴールを守るゴールキーパーと、相手の攻撃を遮る組織されたディフェンスを打ち破る攻撃は必見。シュートは、大人の選手で時速150～200kmにもものぼる。



Photo Courtesy of Gryphon

## スピーディーな展開

攻守の移り変わりが速く、1つのミスですぐに致命的な結果に繋がる恐れがある。目を離せないスリリングな展開はとてもエキサイティング！



Photo Courtesy of Gryphon

## オフサイドの廃止

以前、ホッケーにはオフサイドがあったが、ルールの改定によって廃止された。それによって、多くの得点や決定機が生まれるようになり、更に手に汗握るスポーツとなった。

## 選手のタフさ

その展開の早さから運動量は想像を絶する。オフェンスの選手は1試合でおよそ20km、ディフェンスの選手の場合は10km以上に相当する距離を走ることもある。

## ホッケーの歴史

ホッケーという名前は、フランス語の「hoquet（牧夫の杖）」が語源だと言われている。ホッケーの起源についてはっきりとした記録はないが、誕生は最も古い文明の時代だったであろうと推測されている。人類で最も古いスポーツの1つだと考えられているホッケーは、今から4千年前にはエジプトで、紀元前およそ千年前にはエチオピアで行われていたことが歴史的文献によ

て分かっている。近代ホッケーのルールは18世紀中頃にイギリスで生まれ、その後、今日まで改良を重ねられてきた。1908年にオリンピック競技となり、1924年に国際ホッケー連盟が設立した。そして1927年には国際女子ホッケー連盟ができ、1982年に両連盟は統合を果たした。現在、オリンピック、ワールドカップ、そしてチャンピオンズ・トロフィー大会がホッケーの3大大会と呼ばれ、年々レベルと人気は上がっている。

Information Courtesy of Hockey Australia